

2019年10月31日

データ作成支援ツール（統合バージョン2.00.00）

ツールバージョン2.00.00aリリースノート

chemSHERPA 事務局

はじめに

2019 年 9 月に作成支援ツール 2.00.00 をリリースしましたが、従来形式のデータ利用に際し、課題が見つかりました。

この対応を行うためツールバージョン 2.00.00a をリリースします。あわせて、これまでに確認された不具合も修正しました。

今回のリリースは成形品データ作成支援ツールのみの対応となり、化学品データ作成支援ツールは対象外となります。

なお、V2.00.00a ツールに搭載される物質リストは、V2.00.00 と同じです。よって、ツールの変更による流通データへの影響はありませんので、9 月にリリースした V2.00.00 ツールで出力されたデータの再作成は不要です。

ただし、以下の条件に当てはまるデータは、1.（4）にて説明しているとおり、成分情報の用途コードが V1 形式のまま転記されている可能性がありますので、ご確認の上、必要に応じて修正をお願いいたします。

- ・ V2.00.00 ツールで AIS をコンバート取込したデータ、
- ・ 且つ、V2 形式で出力されたデータ（※1）
- ・ 且つ、運用回避を行っていないデータ（※2）

※1) V1 形式で出力したデータは、元のデータ形式にかかわらず問題ありません。

※2) 運用回避とは、V1 形式で出力（一時出力も可）した上で、出力したデータを

再読み込みすることです。再読み込みすることで、読み込み時に V2 形式に自動変換されます。

1. ツールの機能追加、変更、障害対応

(1) 「製品質量」と「部品質量合計」の比較エラーチェックの閾値の変更

- 以下のエラーチェックにおいて、警告とする閾値を 100.01%を超える場合とする。
 - 基本情報画面の「部品質量合計-製品質量」の比較
 - 成分情報画面の「部品質量合計-製品質量」の比較
- その他の閾値に変更はありません。

部品質量の合計	アラートのレベル
製品質量の 110%超	エラー
製品質量の 100.01%を超え 110%以下	警告
製品質量の 90%以上 100.01%以下	正常
製品質量の 90%未満	警告

部品配下の材質質量の合計	アラートのレベル
部品質量の 110%超	エラー
部品質量の 100%を超え 110%以下	警告
部品質量の 90%以上 100%以下	正常
部品質量の 90%未満	警告

(2) 部品質量計算時の単位付与ルールの変更

- 成分情報画面において、部品質量の自動計算が行われた時（※3）、部品質量の単位は以下のルールに従って付与されます。

部品配下の材質質量の合計	部品質量の単位
100,000g 以上	kg
100g 以上、100,000g 未満	g
100g 未満	mg

- 上記の単位変換後、小数 5 桁目以降が発生した場合は繰上げ。

※3）部品質量は、次の場合に自動計算が行われます。

①部品質量が空欄のまま「エラーチェック」もしくは「確定」ボタンが押された時

②部品質量欄の「再計算」ボタンが押された時

(3) 成分情報の帳票の出力項目の追加と一部修正

- ・ 帳票の出力項目として、「部品質量総計(g)」と「製品質量に対する部品質量総計比(%)」を追加しました。
- ・ あわせて「製品質量に対する部品総計比(%)」の文言を「製品質量に対する部品質量総計比(%)」に修正しました

(4) AIS 形式のデータの読み込みにおける用途情報変換漏れの対応

- ・ AIS 形式のデータを「コンバート取込」にて読み込んだ際、成分情報の用途情報が V1 形式のまま読み込まれていましたので、読み込み時に V2 形式に変換するように修正しました。

(5) 成分情報の帳票における計算障害の対応

- ・ 成分情報の帳票出力時、特定の条件（※）において、SVHC の含有率が正しく計算されない障害の修正を行いました。
※）特定の条件とは「成分情報のアークフルフラグが、部品も材質も立っていない」且つ、「成分情報の階層が空欄」且つ、「基本情報画面の製品質量の単位が「g」以外」の場合

(6) 基本情報画面 製品・部品情報の製品名にシングルコーテーションを含んだデータ読み込み時の障害対応

- ・ 製品・部品情報の製品名にシングルコーテーションを含んだデータを読み込んだ場合もエラーにならないように修正しました。

(7) その他の改善項目

- ・ 成分情報の帳票の管理対象基準が一部見切れていましたので、デフォルトの行幅を、規制の記載内容に合わせて広げました。
- ・ 製品質量対部品質量合計のエラーメッセージから、部品質量の「再計算」へ誘導する文言を削除しました。

2. 本ツールの起動可能期限

本ツールの起動可能期限は、2020 年 9 月 4 日です。9 月 5 日以降は、ツールが起動出来なくなります。

chemSHERPA では、管理対象物質リストを定期的に更新しており、管理対象物質リストが更新された際は、これをツールに組み込んで配布しています。また、そのタイミングで、必要に応じて適用除外リストの更新やツールの機能改善、不具合修正を行っています。古いリストやツールの継続利用を防止するため、ツールには使用期限を設けております。

物質リスト更新時は、更新された物質リストを搭載したツールをあらためてダウンロードしてお使いください。